シンポジウム研究会

「一人ひとりのセクシュアリティが大切にされる社会へ向けて～日本の現状と課題」

１　企画趣旨

科研費基盤Ｂ「多元多層化する家族と法の全体構造に関する実証的比較法研究」（代表・床谷文雄〔大阪大学大学院〕）の研究の一環として、2013 年度には、ベルギーからランション教授、フランスからガリーグ講師をお招きして、シンポジウム「白仏両国における婚姻・パートナーシップ法制・内縁の 3 元構造の展開とその背景」を開催し、同性カップルに関する制度の比較法的検討を行いました。今年度は、一人ひとりのセクシュアリティが大切にされる社会へ向けて活動されているみなさまから、日本の現状を報告していただき、課題を抽出し、共有化したいと考えます。

２　日時・場所

2016 年 2 月 7 日（日）12:30～17:30

早稲田大学・戸山キャンパス 36 号館 582 教室（最寄り駅は地下鉄東西線早稲田駅）

https://www.waseda.jp/top/access/toyama-campus　→戸山キャンパス案内図へ

主催：科研費基盤Ｂ「多元多層化する家族と法の全体構造に関する実証的比較法研究」（代表・床谷文雄〔大阪大学大学院〕）、科研費基盤Ｂ「日本におけるクィアスタディーズの構築」（代表・河口和也〔広島修道大学〕）、科研費基盤Ｂ「家事事件当事者の合意による解決と家事調停・メディエーション機能の検証」（代表・二宮周平〔立命館大学〕）

３　構成

はじめに～　企画趣旨説明　　二宮周平　12：30～12：45

（１）日常生活の保障と法制度の課題　　12:45～14:15

①同性パートナーシップの公的承認　　上川あや氏（世田谷区議）

②同性婚の可能性～日弁連人権救済申立て　　三輪晃義氏（大阪弁護士会）

③性同一性障害の当事者がおかれている社会の現状と課題　　山本蘭氏

（gid.jp〔一般社団法人　日本性同一性障害と共に生きる人々の会〕代表）

〔休憩〕15 分（質問用紙回収）

（２）平等な社会へ向けて　　14:30～16：00

④相談対応　　原ミナ汰氏

(NPO 法人共生社会をつくるセクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワーク代表理事)

⑤学校教育　　薬師実芳氏（NPO 法人 ReBit（りびっと）代表理事）

⑥企業研修　　村木真紀氏（NPO 法人虹色ダイバーシティ代表理事）

〔休憩〕15 分（質問用紙回収）

（３）質疑　　16:15～17:30

質問用紙整理＋司会　大島梨沙（新潟大学）、渡邉泰彦（京都産業大学）、二宮周平

問合せ先→立命館大学法学アカデミー事務局　赤塚みゆき　hou-aca2@st.ritsumei.ac.jp